

久保幸治  
議員



## ● 災害用燃料と危機管理政策について ● 食の安全[遺伝子組み換え食品]について

そのほかの質問

- ・空き家対策について
- ・水道の民営化について

### 一般質問

今回の雪害は、市街地構造の変化に対応した危機管理となつていいのか。勝山市は何度も豪雪被害を経験している。しかし、その被害間隔が長いため、危機感の薄れや生活様式、市街地構造の変化に応じた危機管理となつていいのではないかとの考え。今回の雪害は必ず起るという設定の下での危機管理、要避難支援者・一人暮らしの高齢者への暖房用緊急災害福祉灯油の公民館での備蓄を提案する。

答 今回の雪害に対して事態を想定していたが、十分な対応はできなかつたと考えている。燃料については、勝山市管外の道路状況によるため、国や県に対策を求めるべきではない。また、断水についても、配水池の水位回復は天候等に大きく左右されるため、想定はしても対応について困難なところがある。今回のことを教訓に、雪害タイムラインを盛り込んだ地域防災計画を見直し、危機管理体制の強化を図ると共に毎年開催する雪害対策会議においても関係機関との連携を

答 厚生労働省が発行しているパンフレット「遺伝子組み換え食品の安全性について」に書かれている内容を基本に、給食の食材は産地や遺伝子組み換え表示を確認しながら、安全安心な給食づくりを行っている。

下牧一郎  
議員



## ● ホームページのリニューアルについて

### 一般質問

平成29年度「情報通信白書」によると、我が国のインターネット利用状況は人口普及率83.5%であり、端末別に見るとパソコンが58.6%に対してもスマートフォンが57.9%と迫っている。最近の若者の中には必要な情報は全てスマートフォンで検索・収集しているという話もよく聞く。多くの自治体ではパソコン向けのホームページを基準に、レスポンシブウェブデザインを採用したスマートフォンへの対応が多く見られる。今回のリニューアルにおいてもスマートフォン対応がまさにこのレスポンシブウェブデザイン対応。確かにこの対応をすればスマートフォンで間違いなく表示はされるが、パソコン向けの画面設計はある意味無理やり表示しているので大変見づらい画面が表示されることが時々ある。

そこで、今回のリニューアルをスマートフォンアルをスマートフォン通りの画面設計に見直すことはできないか。

答 レスポンシブウェブデザインのメリットは、スマートフォン用のホー

ムページを用意する必要がない、どのような端末からも同じ情報が得られ、メンテナンスが容易になることなどがあるが、通常のパソコンとモバイル機器では利用する場所や目的が異なるため、どの機器でも使いやすいという絶対的なものではない。現在のデザインもスマートフォンでの利用を考慮して進めているため、見直しは考えていらない。理由として今回のリニューアルでは、スマートフォンなどのモバイル端末で見た場合と入れ替えた場合、画面に表示される項目を通常のパソコンで見ただけであります。そのため、画面表示される項目については折りたたんでおき、利用者が必要な項目についても見づらくなってしまう。そのため、通常のパソコンでもモバイル端末でも勝山市の力が伝わる、どんな方も使いやすいホームページのデザインを目指して画面設計を進めていく。